



Little-Net
Web Tool

デザイン自由な
WEB ツール

情報一覧管理
L-TOOL InfoList (ver 3.1)
取扱説明書

Little Net <http://l-tool.little-net.com/>

- 2017年2月12日版 -

【目次】

1. 概要
2. サーバーへの設置
3. 設定
4. デザイン変更
5. 利用規定
6. 更新履歴

■ 1. 概要

このWEBツールは、様々な情報を管理し、一覧リストを表示する php スクリプトです。

php5 以上、HTML ファイルの文字コードが UTF-8 用のスクリプトです。

php が使用できる WEB サーバーに設置することで、簡単に、新着一覧、トピック一覧、QandA、商品・製品一覧などの一覧リスト画面およびその詳細画面を設置できます。

尚、サーバーで使用できる php のタイプ (モジュール版/CGI 版) により、幾つかアップロード不要なファイルがあります。

モジュール版 php の場合	<p>●使用できる php がモジュール版 (拡張子 .php) の場合は、下記の CGI 版用の php はアップロード不要です。(さくらインターネットのスタンダード等)</p> <p>…/infolist.php …/infolist.cgi ----- アップロード不要 (CGI 版用の php) …/admin.php …/admin.cgi ----- アップロード不要 (CGI 版用の php)</p> <p>(上記赤字以外は全てアップロード)</p>
CGI 版 php の場合	<p>●使用できる php が CGI 版 (拡張子 .cgi) の場合は、下記のモジュール版用の php はアップロード不要です。</p> <p>…/infolist.php ----- アップロード不要 (モジュール版用の php) …/infolist.cgi …/admin.php ----- アップロード不要 (モジュール版用の php) …/admin.cgi</p> <p>(上記赤字以外は全てアップロード)</p> <p>※CGI 版の場合、サーバーによっては上記 infolist.cgi と 各 admin.cgi の先頭行の php パス (#!/usr/local/bin/php) が違う場合があります。この場合はこのパスをサーバーの環境に合わせて変更して下さい。</p>

■ 2. サーバーへの設置

このWEBツールは、WEBサーバーがApacheでphpを利用できるサーバー向けに制作されています。
サーバーへの設置は以下を参照してください。

【1】解凍後、フォルダー内の内容をそのままサーバーの適当なフォルダー(又はトップ)にアップロードします。

例) lt-infolistXXXX/ ----> http://example.com/list/
(XXXXはバージョン番号)

CGI版phpを使用する場合、サーバーによっては、infolist.cgiと各admin.cgi
(admin.cgi, wbsys/base/admin.cgi, wbsys/infolist/admin.cgi)の先頭行のPHPパス
#!/usr/local/bin/phpが違う場合があります。この場合はこのパスをサーバーに合わせて変更して下さい。

【2】サーバー設置時の各フォルダー・ファイルの属性(=パーミッション)は以下()内の通りです。

```
list/ ----- (0755) 設置フォルダー (設置はphp設置可能な場所なら自由に可能)
├ l-tool.html ----- (0644) L-TOOLフリーソフト設置確認用のHTML
├ infolist.php(.cgi) ----- (0755) InfoListメイン起動PHP
├ admin.php(.cgi) ----- (0755) 管理機能ジャンプ用起動PHP
├ tmp-list1.html ----- (0644) リスト1用テンプレートHTML (デザインはこのファイルを修正)
├ tmp-list2.html ----- (0644) リスト2用テンプレートHTML (デザインはこのファイルを修正)
├ tmp-list3.html ----- (0644) リスト3用テンプレートHTML (デザインはこのファイルを修正)
├ tmp-detail.html ----- (0644) 詳細ページ用テンプレートHTML (デザインはこのファイルを修正)
├ infolist.css ----- (0644) テンプレートCSS (修正したデザインに必要なければ不要です)
├ .htaccess ----- (0644) apache設定ファイル
└ wbsys/ ----- (07xx) システムフォルダー【※1】
  ├── infolist/ ----- (07xx) 情報一覧機能用フォルダー【※1】
  │   ├── admin.php(.cgi) -- (0755) 管理機能起動PHP
  │   ├── xxx.php.cgi ----- (0644) 各種プログラムPHP
  │   ├── tmp-xxxx.html --- (0644) テンプレート用HTML
  │   └── data/ ----- (自動生成フォルダー)
  ├── base/ ----- (07xx) 管理機能用フォルダー【※1】
  │   ├── admin.php(.cgi) -- (0755) 管理機能起動PHP
  │   ├── xxx.php.cgi ----- (0644) 各種プログラムPHP
  │   ├── tmp-xxxx.html --- (0644) テンプレート用HTML
  │   └── data/ ----- (自動生成フォルダー)
  ├── lib/ ----- (0755) 各種PHPプログラムフォルダー
  ├── css/ ----- (0755) システムが使用しているCSS
  ├── js/ ----- (0755) システムが使用しているJavaScript
  └── extool/ ----- (0755) 使用している他のフリーソフト
```

【補足】 infolist.php(cgi), 各 admin.php(cgi) 等の起動PHPは、サーバー推奨のファイル属性が (0755)ではなく (0700) 等の場合は、サーバー推奨に合わせて設置して下さい。

【※1】 (07xx) は (0755) でエラーが出る場合は (0777) に設定して下さい。(phpの実行時ユーザーがapacheで実行されるサーバーの場合、0755ですと自動生成フォルダー等の生成でエラーが発生します)

※上記の設置で、ブラウザから以下のphpスクリプトが起動できます。

```
管理機能 → http://.../list/admin.php (又は admin.cgi)
情報一覧 → http://.../list/infolist.php (又は infolist.cgi)
```

■3. 設定

システムをサーバーに設置後は、管理機能を起動し、以下の設定を行って下さい。

【1】管理機能の起動

- ・ブラウザから、管理機能を開いて下さい。

例) <http://...../list/admin.php> (admin.cgi)

L-TOOL ***** 管理機能 初期セットアップ

▼設置URLの設定

設置URL1 (必須) ▼このシステムを設置したURLを指定して下さい。
(システム設置判定用の "l-tool.html" をブラウザで表示し、そのURLを設定して下さい)
 [確認]
例) <http://example.com/xxx/l-tool.html>
※ l-tool.html はパッケージを解凍したフォルダの直下に入っています。
※ 指定が正しければ [確認] をクリックすると L-TOOL と表示されます。

設置URL2 (SSL) ▼上記と同じ "l-tool.html" を SSL (https://~) で表示した場合のURLを指定して下さい。
(SSLでアクセス出来ないサーバーの場合は「設置URL1」と同じURLを指定して下さい)

例) <https://example.com/xxx/l-tool.html> (専用SSLの場合など)
例) <https://...../example.com/xxx/l-tool.html> (共用SSLの場合など)
例) <http://example.com/xxx/l-tool.html> (SSLでアクセス出来ない場合など)
※ 管理機能等はこちらのURLでのアクセスとなります。

▼管理者情報の設定

管理者名 (必須)
※ここで指定された管理者名は、各種メールの送信元名称として使用されます。

- ・最初のみ「初期セットアップ」画面が表示されます。
「設置 URL1」「設置 URL2」「管理者名」「管理者メールアドレス」「ログインID」「パスワード」等を設定して下さい。
設定後はログイン画面が表示されます。上記で設定した「ログインID」「パスワード」でログインして下さい。
- ・ログイン後は「管理TOP」メニュー画面が表示されます。

L-TOOL InfoList 2.1 管理機能

■ 情報の管理
■ システムの各種設定
■ ログインID・パスワードの設定

「情報の管理 > 情報の一覧（登録／更新／削除）」から、すぐに情報の登録が行えます。
登録された情報は、そのまま一覧に表示されます。
一覧の種類は List1、List2、List3 と3種類あります。

【2】登録した情報の確認

実際に登録した各情報が、各一覧リスト画面および詳細画面にどのように表示されるかは、ブラウザに、例えば、以下の様な URL を指定して確認できます。

[リスト 1 (List1) の場合] `http://...../list/infolist.php?p_act=list1`

[リスト 2 (List2) の場合] `http://...../list/infolist.php?p_act=list2`

[リスト 3 (List3) の場合] `http://...../list/infolist.php?p_act=list3?p_cate=(カテゴリコード)`

[詳細画面の場合] `http://...../list/infolist.php?p_act=detail?p_key=(key 値)`

ユーザー側（フロント側）の HTML 等からリンクする場合も、上記のような URL でリンクします。

（パラメータの説明）

（1）p_act

p_act=xxx はどタイプの画面を表示するかのパラメータです。

タイプには、list1, list2, list3, detail があります。

それぞれ、リスト 1、リスト 2、リスト 3、詳細画面、を表示します。

（2）p_cate

p_cate=xxx は情報をカテゴリ別に表示したい場合のパラメータです。

（カテゴリ別に表示しない場合は必要ありません）

あらかじめ、情報にはカテゴリを指定して登録しておきます。

カテゴリの種類は「管理 TOP > 情報の管理 > 情報の各種設定」から編集できます。

（3）p_page

p_page=xxx は情報が複数ページに分かれる場合の表示ページを指定するパラメータです。

（4）p_key

p_key=xxx は情報の詳細画面を表示する際の、情報を識別する key 値を指定するパラメータです。

（注意）key 値を指定しても、List1～List3 全てで非表示に指定されている情報は表示されません。

【3】情報入力項目の設定

登録情報は「情報の管理 > 情報の各種設定」より、カテゴリの内容や項目名などが変更できます。

また、各一覧リスト画面の表示順や、1 ページの表示行数も指定できます。

■ 4. デザイン変更

このWEBツールは、テンプレートのHTMLファイルを編集する事により、デザインを自由に変更できるように設計されています。

【1】デザインの修正ファイル(テンプレートHTMLファイル)

情報一覧の各画面は以下のテンプレートファイルからできています。

(1) 一覧リスト	(tmp-list1.html, tmp-list2.html, tmp-list3.html)
(2) 詳細ページ	(tmp-detail.html)

このシステムは、テンプレートのHTMLファイルを読み込み、変換指定“##xxxxxxx##”を登録されているデータに変換し、表示します。

ですので、この変換指定をテンプレートHTMLに組み込む事で、デザインは自由に変わります。

【2】変換指定の概要

大きく分けて、変換指定には、以下の種類があります。

(1) 置換変換指定

```
##xxxx##
```

##xxxx## を特定の項目の内容に置換します。

例) ##LIST_TEXT01## --- 一覧リスト(tmp-listN.html)で、項目「テキスト1」の内容に置換します。

例) ##DETAIL_TEXT01## --- 詳細画面(tmp-detail.html)で、項目「テキスト1」の内容に置換します。

(2) IF 変換指定

```
<!--##IF_xxxx##--> ~ <!--##/IF_xxxx##-->
```

特定の条件が真の場合のみ、<!--##IF_xxxx##--> ~ <!--##/IF_xxxx##--> の間が有効になります。

<!--##IF_NOT_xxxx##--> ~ <!--##/IF_NOT_xxxx##--> は条件が偽の場合に有効になる指定です。

例) <!--##IF_LIST_EXIST##--> --- 一覧リストで、データが存在する場合の IF 変換指定。

例) <!--##IF_DETAIL_EXIST##--> --- 詳細画面で、データが存在する場合の IF 変換指定。

(3) 繰り返し変換指定

```
<!--##LIST##--> ~ <!--##LIST##-->
```

一覧リストで、対象の情報数分、<!--##LIST##--> ~ <!--##LIST##--> の間を繰り返します。

繰り返し変換指定には以下があります。

<!--##LIST##--> ~ <!--##LIST##--> --- 情報数分繰り返し (一覧リストで使用可)

<!--##CLIST##--> ~ <!--##CLIST##--> --- カテゴリ数分繰り返し (一覧リスト、詳細画面で使用可)

<!--##PLIST##--> ~ <!--##PLIST##--> --- 改ページリスト分繰り返し (一覧リストで使用可)

【3】一覧画面で使用可能な変換指定

一覧リストのテンプレートHTML では以下の変換指定が使用できます。

※ 一覧リストのテンプレートは、tmp-list1.html, tmp-list2.html, tmp-list2.html

※ xx は項目の番号で、テキスト項目の場合は 01～10、それ以外は 01～05

※ (S)は画像サイズで、L, M, S の3種類のサイズがあります。

※ [L] は、その変換指定が、<!--##LIST##-->～<!--##LIST##-->の中のみで有効、を表します。

※ [PL] は、その変換指定が、<!--##PLIST##-->～<!--##PLIST##-->の中のみで有効、を表します。

※ [CL] は、その変換指定が、<!--##CLIST##-->～<!--##CLIST##-->の中のみで有効、を表します。

##MYACT##	--- php スクリプト名に置換
<!--##IF_LIST_EXIST##-->	--- 情報が一つでもある場合に真
<!--##IF_PLIST_EXIST##-->	--- 改ページリストが必要な場合(複数ページの場合)に真
<!--##IF_CLIST_EXIST##-->	--- カテゴリがある場合に真
(情報リスト)	
<!--##LIST##-->	--- この変換指定で囲まれた範囲を、情報数分繰り返す
##LIST_KEY##	--- [L]情報の key 値
##LIST_CNT##	--- [L]リスト内のカウント
##LIST_CATE_CODE##	--- [L]カテゴリのコード
##LIST_CATE_STR##	--- [L]カテゴリの名称
##LIST_TEXTxx##	--- [L]テキスト項目の値 (例)##LIST_TEXT10##
##LIST_TAREAx##	--- [L]テキストエリア項目の値 (例)##LIST_TAREA05##
##LIST_IMG(S) xx##	--- [L]画像項目の画像タグ() (例)##LIST_IMGL05##
##LIST_IMG(S) xx_LEFT##	--- [L]画像項目の画像タグ() _LEFT の他、_TOP, _MIDDLE, _BOTTOM, _RIGHT があります。
##LIST_IMG(S) xx_PATH##	--- [L]画像項目の画像ファイルパス (例)##LIST_IMGL05_PATH##
##LIST_IMG(S) xx_EXT##	--- [L]画像項目の画像ファイル拡張子
##LIST_IMG(S) xx_WIDTH##	--- [L]画像項目の画像ファイルの幅
##LIST_IMG(S) xx_HEIGHT##	--- [L]画像項目の画像ファイルの高さ
##LIST_IMGxx_TITLE##	--- [L]画像項目のタイトル (例)##LIST_IMG05_TITLE##
##LIST_FILExx_EXT##	--- [L]ファイル項目のファイル拡張子 (例)##LIST_FILE05_EXT##
##LIST_FILExx_DOWNLOAD_URL##	--- [L]ファイル項目のダウンロードリンク用 URL
##LIST_FILExx_DOWNLOAD_TITLE##	--- [L]ファイル項目のダウンロードリンク用タイトル
##LIST_INS_TIME_YY##	--- [L]登録日時一年(表示例) 2015
##LIST_INS_TIME_Y2##	--- [L]登録日時一年(表示例) 15
##LIST_INS_TIME_MM##	--- [L]登録日時一月(表示例) 01
##LIST_INS_TIME_M##	--- [L]登録日時一月(表示例) 1
##LIST_INS_TIME_DD##	--- [L]登録日時一日(表示例) 01
##LIST_INS_TIME_D##	--- [L]登録日時一日(表示例) 1
##LIST_INS_TIME_HH##	--- [L]登録日時一時(表示例) 00
##LIST_INS_TIME_MI##	--- [L]登録日時一分(表示例) 00
##LIST_INS_TIME_SS##	--- [L]登録日時一秒(表示例) 00

<!--##IF_LIST_CATE##--> --- [L]カテゴリが設定されている場合に真
 <!--##IF_LIST_TEXTxx##--> --- [L]このテキスト項目が設定されている場合に真
 <!--##IF_LIST_TAREAx##--> --- [L]このテキスト項目が設定されている場合に真
 <!--##IF_LIST_IMGxx##--> --- [L]この画像項目が設定されている場合に真
 <!--##IF_LIST_FILExx##--> --- [L]このファイル項目が設定されている場合に真
 <!--##IF_DETAIL_FILExx_PDF##--> --- [L]このファイル項目のファイル拡張子が PDF の場合に真
 <!--##IF_LIST_IMG_EXIST##--> --- [L]画像項目が一つでも設定されている場合に真
 <!--##IF_LIST_FILE_EXIST##--> --- [L]ファイル項目が一つでも設定されている場合に真

(改ページ)

##PAGE## --- 現在ページ
 <!--##PLIST##--> --- この変換指定で囲まれた範囲を、改ページリスト数分繰り返す
 ##PLIST_TOTAL## --- 総情報数
 ##PLIST_CNT1## --- 現在ページの情報開始番号
 ##PLIST_CNT2## --- 現在ページの情報末尾番号
 ##PLIST_TOP## --- 先頭ページ番号(=1)
 ##PLIST_BOTTOM## --- 末尾ページ番号
 ##PLIST_PAGE## --- [PL] ページ番号
 ##PLIST_PREV## --- [PL] 前ページ番号
 ##PLIST_NEXT## --- [PL] 次ページ番号
 <!--##IF_PLIST_CURRENT##--> --- [PL] ページ番号が現在ページの場合に真
 <!--##IF_PLIST_TOP##--> --- 先頭ページへのリンクを表示しても良い場合に真
 <!--##IF_PLIST_BOTTOM##--> --- 末尾ページへのリンクを表示しても良い場合に真
 <!--##IF_PLIST_PREV##--> --- 前ページへのリンクを表示しても良い場合に真
 <!--##IF_PLIST_NEXT##--> --- 前ページへのリンクを表示しても良い場合に真

(カテゴリ)

##CURRENT_GATE_CODE## --- 現在画面のカテゴリコード
 ##CURRENT_GATE_STR## --- 現在画面のカテゴリ名称
 <!--##CLIST##--> --- この変換指定で囲まれた範囲を、カテゴリ数分繰り返す
 ##CLIST_CODE## --- [CL] カテゴリコード
 ##CLIST_STR## --- [CL] カテゴリ名称
 <!--##IF_CLIST_CURRENT##--> --- [CL] カテゴリコードが現在カテゴリの場合に真

【4】詳細画面で使用可能な変換指定

詳細画面のテンプレート HTML では以下の変換指定が使用できます。

※ 詳細のテンプレートは、tmp-detail

※ xx は項目の番号で、テキスト項目の場合は 01～10、それ以外は 01～05

※ (S) は画像サイズで、L, M, S の3種類のサイズがあります。

※ [CL] は、その変換指定が、<!--##CLIST##-->～<!--##CLIST##-->の中のみで有効、を表します。

##MYACT##	--- php スクリプト名に置換
<!--##IF_DETAIL_EXIST##-->	--- 対象 key 値の情報が表示可能な場合に真
<!--##IF_CLIST_EXIST##-->	--- カテゴリがある場合に真
##DETAIL_KEY##	--- 情報の key 値
##DETAIL_CATE_CODE##	--- カテゴリのコード
##DETAIL_CATE_STR##	--- カテゴリの名称
##DETAIL_TEXTxx##	--- テキスト項目の値 (例) ##DETAIL_TEXT10##
##DETAIL_TAREAx##	--- テキストエリア項目の値 (例) ##DETAIL_TAREA05##
##DETAIL_IMG(S) xx##	--- 画像項目の画像タグ () (例) ##DETAIL_IMGL05##
##DETAIL_IMG(S) xx_LEFT##	--- 画像項目の画像タグ () _LEFT の他、_TOP, _MIDDLE, _BOTTOM, _RIGHT があります。
##DETAIL_IMG(S) xx_PATH##	--- 画像項目の画像ファイルパス (例) ##DETAIL_IMGL05_PATH##
##DETAIL_IMG(S) xx_EXT##	--- 画像項目の画像ファイル拡張子
##DETAIL_IMG(S) xx_WIDTH##	--- 画像項目の画像ファイルの幅
##DETAIL_IMG(S) xx_HEIGHT##	--- 画像項目の画像ファイルの高さ
##DETAIL_IMGxx_TITLE##	--- 画像項目のタイトル (例) ##DETAIL_IMG05_TITLE##
##DETAIL_FILExx_EXT##	--- ファイル項目のファイル拡張子 (例) ##DETAIL_FILE05_EXT##
##DETAIL_FILExx_DOWNLOAD_URL##	--- ファイル項目のダウンロードリンク用 URL
##DETAIL_FILExx_DOWNLOAD_TITLE##	--- ファイル項目のダウンロードリンク用タイトル
##DETAIL_INS_TIME_YY##	--- 登録日時一年 (表示例) 2015
##DETAIL_INS_TIME_Y2##	--- 登録日時一年 (表示例) 15
##DETAIL_INS_TIME_MM##	--- 登録日時一月 (表示例) 01
##DETAIL_INS_TIME_M##	--- 登録日時一月 (表示例) 1
##DETAIL_INS_TIME_DD##	--- 登録日時一日 (表示例) 01
##DETAIL_INS_TIME_D##	--- 登録日時一日 (表示例) 1
##DETAIL_INS_TIME_HH##	--- 登録日時一時 (表示例) 00
##DETAIL_INS_TIME_MI##	--- 登録日時一分 (表示例) 00
##DETAIL_INS_TIME_SS##	--- 登録日時一秒 (表示例) 00

<!--##IF_DETAIL_CATE##--> --- カテゴリが設定されている場合に真
<!--##IF_DETAIL_TEXTxx##--> --- このテキスト項目が設定されている場合に真
<!--##IF_DETAIL_TAREAx##--> --- このテキスト項目が設定されている場合に真
<!--##IF_DETAIL_IMGxx##--> --- この画像項目が設定されている場合に真
<!--##IF_DETAIL_FILExx##--> --- このファイル項目が設定されている場合に真
<!--##IF_DETAIL_FILExx_PDF##--> --- このファイル項目のファイル拡張子が PDF の場合に真
<!--##IF_DETAIL_IMG_EXIST##--> --- 画像項目が一つでも設定されている場合に真
<!--##IF_DETAIL_FILE_EXIST##--> --- ファイル項目が一つでも設定されている場合に真

(カテゴリ)

<!--##CLIST##--> --- この変換指定で囲まれた範囲を、カテゴリ数分繰り返す
##CLIST_CODE## --- [CL] カテゴリコード
##CLIST_STR## --- [CL] カテゴリ名称
<!--##IF_CLIST_CURRENT##--> --- [CL] カテゴリコードが現在カテゴリの場合に真

■5. 利用既定

このソフトウェアを利用する前に「利用規定」を確認し、内容に同意したうえでこのソフトウェアを利用してください。

【1】利用規定

- (1)このソフトウェアは商用ウェブサイト・非商用ウェブサイトを問わず、自由に設置して利用できます。
- (2)このソフトウェアの不具合等により利用者等に損害が発生した場合であっても、損害に対する賠償責任は当方(制作者)には無いものとします。この点に同意したうえでこのソフトウェアを利用して下さい。
- (3)このソフトウェアの著作権は当方(制作者)にあります。パッケージ内に当方制作以外のフリーソフト等が含まれている場合、そのフリーソフトの著作権・利用規約のみは各フリーソフトの規定となります。

【2】不具合に関して

このソフトウェアに不具合があった場合、個別の対応はできませんが、修正やバージョンアップの為、ホームページのお問い合わせフォームより、不具合のご連絡を頂ければ幸いです。

■6. 更新履歴

- 2016年10月14日 [Ver3.1] 利用制限の解除。
- 2015年07月11日 [Ver2.2] 不具合修正。画像に関する機能追加。
- 2015年06月30日 [Ver2.1] 有料設置版 InfoList をフリーソフトとして提供開始。